

事例発表

「阿品・阿品台地域で移送支援
(訪問型サービスD) が実現するまで」

廿日市市社会福祉協議会 地域福祉課 主任 酒井 良裕

高齢者福祉計画における 廿日市市の圏域



7日常生活圏域

第2層

第3層

第1層

廿日市市
116,068人



廿日市
東部
31,554人

廿日市
中部
24,035人

廿日市
西部
20,180人

佐伯
8,890人

吉和
573人

大野
29,421人

佐方
廿日市
平良
原

宮内
串戸
宮園
四季が丘

地御前
阿品
阿品台

津田
友和
玖島
浅原

吉和

1区~11区

28コミュニティ

阿品・阿品台地域の特徴①



○阿品台

- ・約50年前に山を切り開いてできた団地
- ・高齢化が進行
- ・坂道が多い（移動に課題が生じやすい）

○阿 品

- ・ JR、広電が電停が近く利便性がよい。
- ・ 近年宅地開発で人口が急増
- ・ 住宅密集地は坂道も多い

○兩地域

サロン活動が活発

阿品・阿品台の特徴② 廿日市高齢者ケアセンター（阿品地区）

地域支援に積極的な事業所



廿日市高齢者ケアセンターは、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービス、ホームヘルパー等の各種福祉施設・サービス等を運営している高齢者ケアの総合福祉施設です。

日本三景“安芸の宮島”と“瀬戸内海”を眺められる温暖な高台に位置しており、自然の美しさと穏やかな環境の中で、利用者様に心身ともに健やかな日々をお過ごしいただけます。

廿日市高齢者ケアセンターで、大切な日々を共に過ごしませんか。



廿日市高齢者ケアセンター ホームページより抜粋

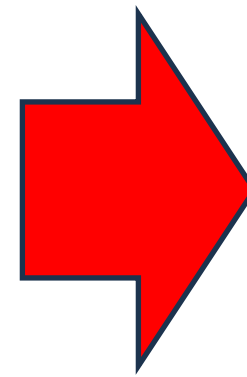
阿品・阿品台の特徴②

廿日市高齢者ケアセンター

①地域活動に積極的

(一部地域サロンとも接点あり)

②ボランティア養成のノウハウ



就労的活動支援コーディネーター を受託

地域支援事業において廿日市高齢者ケアセンターが実施する講座等

修了者41名

令和8年度第1回 廿日市市
介護のお仕事『きっかけ講座』

以前、介護の仕事をしていて、復職するに不安がある…
ヘルパーの勉強をしたことがあるけど、ヘルパーの仕事からには自信がない…

そんな市民の皆様を対象に！！
無料
「最近の介護事情(講義)」が学べ、
「仕事体験(実習)」の機会が受けられる。

介護のお仕事『きっかけ講座』を開催します！！

- 事業主体：廿日市市
- 実施機関：廿日市高齢者ケアセンター（阿品清鈴・第2清鈴園）
- 無償で参加。以下の卒業資格あり

修了者177名

令和8年度第1回
廿日市市介護予防・生活支援員養成研修

(廿日市市一定研修)
受講生募集!!

受講料無料

平成28～令和7年度 通算修了者167名

廿日市市介護予防・生活支援員養成研修とは？

介護認定の要支援1・2及び事業者対象者（生活機能低下が認められた方）の方に、『生活援助型訪問サービス』（掃除、洗濯、衣類の整理、薬の受取等の自立支援のための家事援助 ※身体介護を除く）を提供する資格を取得できる研修です。この資格があると廿日市市の指定訪問介護事業所で生活支援員として従事できます。

修了者360名以上

認知症の方への活動
地域活動への入口

福祉・介護の就労

仕事体験実習で有資格者の復職を支援する

体験型 受講者 随時募集!

廿日市市 介護のお仕事『きっかけ講座』

福祉・介護のお仕事の復職をお考えの方へ
市民皆様の職業生活を目的とした施設対応型講座（床設置きっかけ講座）

オリエンテーション + 仕事体験実習

- 事業主体：廿日市市
- 実施機関：廿日市高齢者ケアセンター（阿品清鈴・第2清鈴園）
- 参加費：無料
- 受講料無料。以下の卒業資格あり

廿日市市内でのご希望の職種に関心がある方
介護福祉士、介護職員初級者研修修了者、施設介護職員初級者研修修了者（ヘルパー1～2免許保持者含む）、介護職員初級者研修修了者、生活支援員修了者、短期大学又は専門学校卒の者は事前登録不要。
※廿日市市で行われる社会福祉士試験受験資格取得者も可。
○ 研修会場：オリエンテーションは廿日市高齢者ケアセンター
仕事体験実習はご希望の施設で最大3名まで

内容	時間
オリエンテーション 研修のねらい・介護保険制度の概要・仕事体験実習予定	10:00～11:30
仕事体験 希望する施設・事業所にて最大3名の希望で仕事体験 施設、側近	

※ 仕事体験実習は、廿日市市内の小規模な施設や事業所で「自分自身で仕事体験ができる」確保先を調査し、受け入れ準備段階の中より決定候補を募集し、最大3名まで実習可能です。

詳細は仕事体験実習で復職を支援する、「講座型 きっかけ講座」も併2日間開催しています。詳細は下記の問合せ先にご確認ください。

【問合せ先】
廿日市高齢者ケアセンター（阿品清鈴・第2清鈴園）
〒730-0054 廿日市市阿品 4丁5番1-32 電話：水村・小野
tel:0829-336-2552 fax:0829-336-2550

同時開催

福祉・介護の就労 地域活動への入口

高齢者の自宅を訪問し
自立のための

やすらぎ支援員 養成基礎研修

(令和8年度第1回)

廿日市市委託事業

Since 2003

受講者募集
受講料無料

やすらぎ支援員とは？
認知症の方のお世まに、二人一組で訪問し、認知症の方ご本人やご家族のお話を伺うなど、お話し相手家族の安らぎのある時間をお手伝いさせていただきますボランティアです

やすらぎ支援員養成基礎研修は、この「やすらぎ支援員」になるための研修です

就労的活動支援コーディネーターとは？

SCと同様に、介護保険法に基づく地域支援事業の一環として配置され、高齢者が自分の特性や希望に合った活動に参加できるよう支援するもの

「西部戦略会議」で関係機関が連携（第2層域）



廿日市西部圏域（阿品・阿品台・地御前）の生活支援体制にかかわる現状や課題を共有し、必要な資源や人と人を繋ぐための取り組みを協議・実行するための協議の場（月1回）

西部戦略会議（主なメンバー）

社協（SC）

就労的活動支援コーディネーター

地域包括支援センター

地域共生社会推進室

地域振興課

実現までのステップ

1. ニーズ調査
2. 移送協力事業所の調整
3. 運転ボランティアの発掘・登録
4. ニーズ再調査
5. 移送支援にむけての最終調整
6. 移送支援の実施

1. ニーズ調査

SC

就労的C

包括

きっかけ：ケアセンターへのサロン世話人からの相談
他のサロンでも同じようなニーズがあるのでは？

→ 阿品・阿品台のサロン世話人に対してアンケート調査を実施

移送支援に関するアンケート調査

1. 調査対象：阿品・阿品台地区の介護予防を目的とした地域の通いの場や高齢者サロン等（23か所）
2. 調査目的：移送支援に関するニーズの把握
3. 調査内容：
 - ① お身体や住環境、交通環境等により移動が困難な状況にある方がおられるか
 - ② 移送支援があれば利用したいか
 - ③ 運転ボランティアが出来そうな方がおられるか

※ アンケート紙にて実施（Web回答可） SC・包括・共生・振興・就労S

1. ニーズ調査 — 結果

移送支援に関するアンケート調査結果

1. 回答率：15/23か所より回答（回収率65%）
2. 回答結果：
 - ・ 送迎があれば参加できそうな方がおられるか → いる 6/15か所
 - ・ 何人くらいおられるか → 1~5人
 - ・ 移送支援の協力を希望するか → 9/23か所
 - ・ 運転に協力できそうな方が地域におられるか → 1/23か所

2. 移送協力事業所の調整

移送支援に車両等の協力が得られそうな企業・事業者への協力要請

阿品・阿品台地域で、介護保険の事業を運営している医療法人、社会福祉法人、民間企業に、本取り組みの趣旨説明と参加協力をお願い

4社に打診し、3社が可能な範囲で協力をすると回答

3. 運転ボランティアの発掘・登録

運転ボランティア説明会・学習会に地元の企業の協力

- ・阿品にある広島第一交通(株)阿品営業所に協力依頼
- ・趣旨をご理解いただき、学習会での講師を無料で引き受けていただいた
- ・運転における留意点などについて、企業のノウハウを提供・説明いただいた

➡ 運転ボランティアに3人が登録

運転ボランティア説明会・学習会

「サロンに行くのが難しくなった...」
地域には、おひとりでは外出が難しい高齢者がおられます。地域の介護サービス事業所の車両を使用した「運転ボランティア」に参加してみませんか？

令和7年 11/25(火) 14:00~16:00

●内容
・阿品・阿品台地区のサロン及び100歳体保における移送支援の希望状況について
・事業所の車両を活用した運転ボランティアへの協力をお願い

●場所 阿品台市民センター

●対象者 阿品・阿品台地区での運転ボランティアに関心のある方

●参加費 無料

●申込方法 11/20(木)までに、お電話・FAXまたはこちらの二次元コードから申込ください

申込先：廿日市社会福祉協議会地域福祉課
(連絡先) ☎ (0829) 20-0294
FAX (0829) 20-1616

共催：廿日市社会福祉協議会・廿日市高齢者ケアセンター・地域包括支援センターはつがいり西部・地域共生社会推進室



4. ニーズ再調査（ヒアリング）

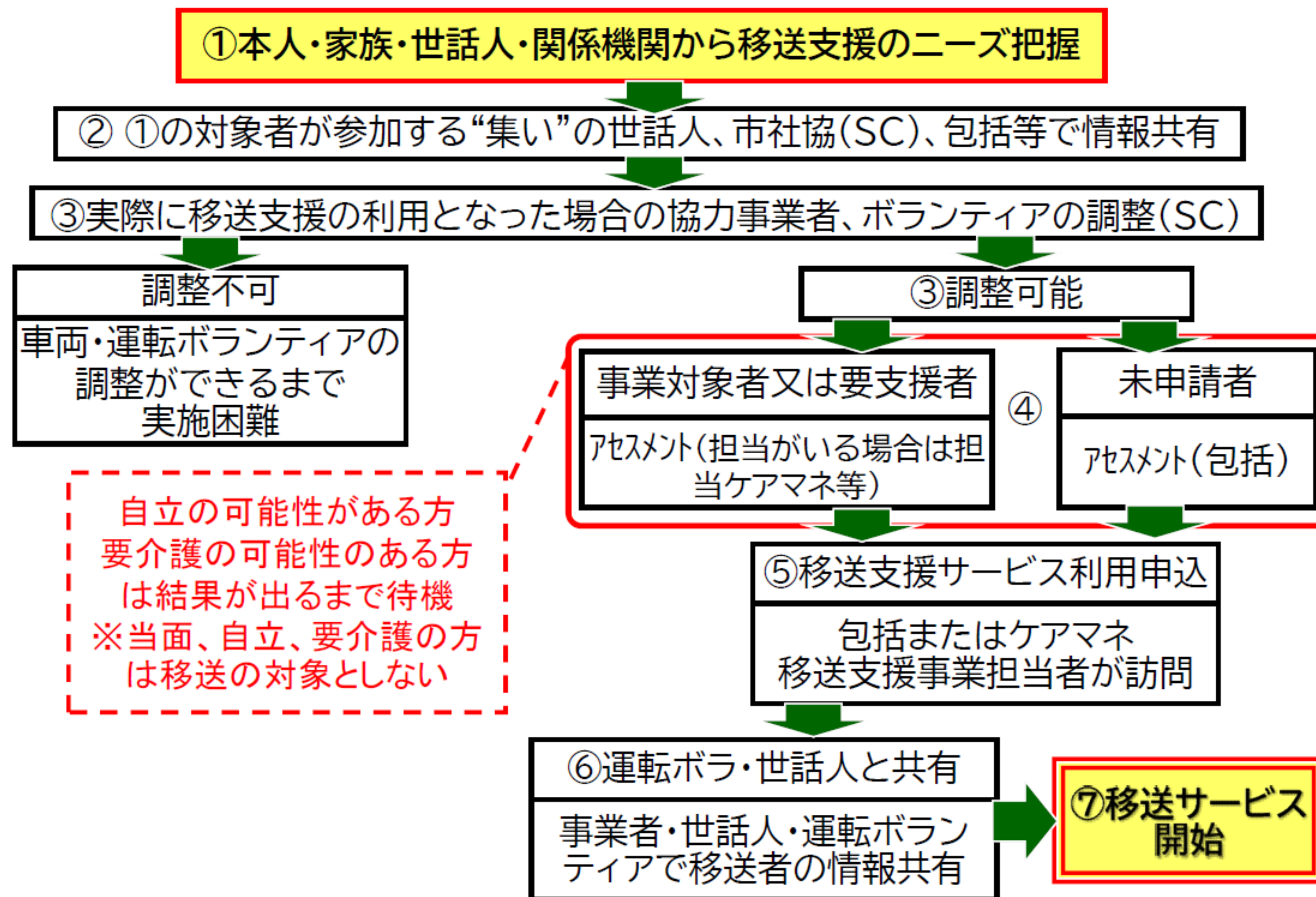
- 初期の調査で、移送を希望されていたサロン・百歳体操の世話人に改めて個別にニーズ調査（ヒアリング）
- 現段階で、移送サービスを希望しそうな方がおられるか
（訪問型サービスDの枠組みで実施すると、事業対象者又は要支援1・2の方のみが対象となる）
- 地域で運転に協力を得られそうな方がおられるか

5. 移送支援に向けての最終調整

- 移送支援の対象者がおられ、運転ボランティアの協力及び事業所の車両提供が可能な個所（阿品のサロン）
⇒ 世話人と移送開始に向けてすり合わせ
- 世話人等の受け入れ確認
- 対象者への意向確認 など
⇒ これらの確認手順等について、関係機関が会議にてフローを整理

訪問型サービスD(移送支援)申込から利用までの流れ

2026年1月20日



6. 移送支援の実施 ～事例紹介（サロン鯖浜）～



家族を在宅介護中。毎月1回のサロン参加を楽しみにしていたが、自身の体調の低下に伴い、サロンへの参加が困難になっていた。

送迎とサロンでの様子



以前から、本人の状況を心配していたサロン世話人が、「運転ボランティア」に登録。
ケアセンターの車を借り、送迎支援を開始



サロンでは参加者の皆さんと体操やおしゃべりなどを
楽しまれている。



本人「坂道もあって、サロンまで行き来することが難
しい。送迎してもらえるので、またみんなとおしゃべ
りができるようになって、感謝している



ご家族の介護が少し落ち着き、現在は毎週送迎を利用
してサロンに参加している。

移送支援が実現するまでの流れ（ニーズ調査～開始まで約13か月）

	ニーズ把握	協力事業所の確保	運転ボランティアの確保	戦略会議で協働
R6.12月	サロン世話人に対して アンケート調査を実施			戦略会議 (毎月) R8.7月から 就労的Cも参加
R7.1月				
R7.2月				
R7.3月				
R7.4月	サロン世話人に 詳細をヒアリング		地域の活動者に運転ボラ ンティアへの協力を打診	
R7.5月		地域の事業所に協力を打診		
R7.6月				
R7.7月			運転ボランティア養成講 座の開催に向けた準備	
R7.8月				
R7.9月		移送支援の運用方法を高齢 介護課と3事業所が検討		
R7.10月				
R7.11月			運転ボランティア講座を開催	
R7.12月	ニーズ再調査	具体的な運用手順や各機関の役割を整理		
R8.1月	1事業所が、運転ボランティアの協力を得て、移送支援をスタート！！			
R8.2月	対象者向けの チラシ作成		「ボラ募集用のチラシ」 「活動のしおり」を作成	
R8.3月				

課題対応 ～戦略会議で関係機関が「協働」して対応できた～

西部戦略会議（共有×協働で実践）

社協（SC）

- ・地域の活動者の把握
（ボランティア・サロンなど）

就労的活動支援コーディネーター

- ・事業所間のネットワーク
- ・ボランティア養成のノウハウ

地域包括支援センター

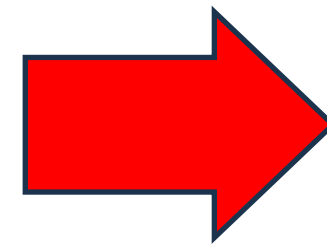
- ・高齢者世帯の個別ニーズ

地域共生社会推進室

- ・行政の機関内の連携・調整

地域振興課

- ・自治会の状況を共有
- ・各種行事での情報発信、人材確保



【実現までの工程】

1. ニーズ調査
2. 移送協力事業者の調整
3. 運転ボランティアの発掘・登録
4. ニーズ再調査
5. 移送支援にむけた最終調整
6. 移送支援の実践

移送支援が実現できたポイントは？ ～スムーズに「協働」できた理由～

○西部戦略会議のようす

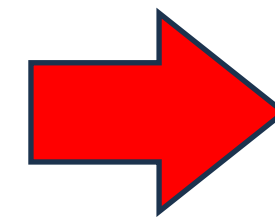
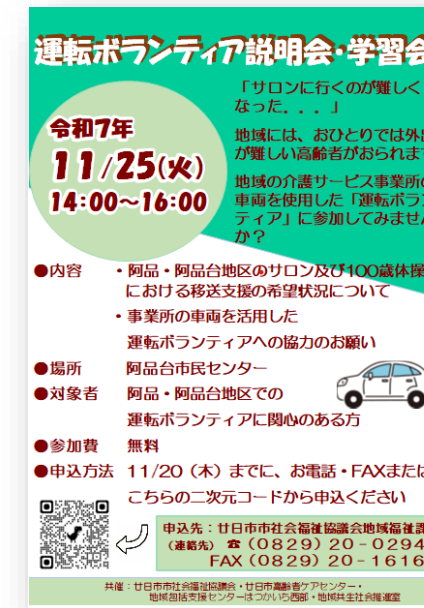
啓発用のチラシがあればなあ…

運転ボランティアが足りないな

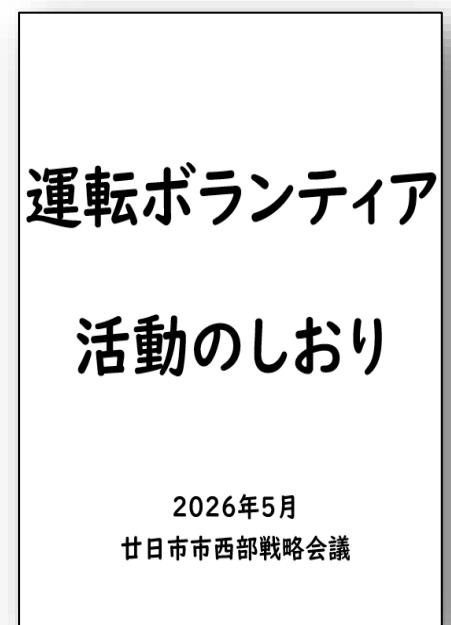


○○会議で周知できますよ！

ボランティアの内容が分かる「手引き」が必要では？



- ・ボランティア講座を企画
- ・周知用のチラシなどの作成



💡 ポイント

- ・関係機関の間で**地域についての「共通認識」**ができていたこと
- ・関係者の**「顔が見える関係性」**ができていたこと